

野村 のむら ようこ 羊子



と いっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.110

■2018年6月議会(6/8~29)

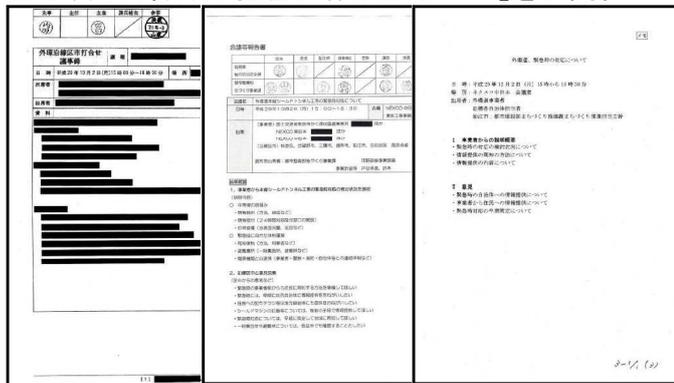
◆野村の一般質問

○東京外環緊急避難計画策定の過程で見えた三鷹市の文書の扱いはおかしい!

国交省外環国道事務所とNEXCO東日本・中日本は、緊急避難計画策定のため、練馬区以外の沿線6区市の担当者へのヒアリングを繰り返した。その際の資料等を情報公開請求したところ、三鷹市は不存在と回答したという。

えっ?! 課長が出かけて他機関と打ち合わせしたのに、報告は残っていない?

市民が、6区市に同様の情報公開請求をしたところ、武蔵野市は日時以外は黒塗り、杉並区は武蔵野市と同じ書式で氏名のみ黒塗り(役職は明示)で公開。調布市、狛江市、世田谷区は、同内容だが独自に作成した「メモ」を公開。



★三鷹市だけが不存在!なぜ?

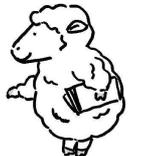
→*都市整備部広域まちづくり等担当部長;議事録をとっているものではなく、口頭で報告している。

 野村;部内で報告しているならメモがあるはず。6回事業者が来訪し、2回沿線区市が集まったのヒアリングがあり、議題の具体的内容についても答弁があった。メモがあるからではないのか?

→*広域担当部長;記憶と、自分自身のメモによる。
野村;共有されたメモは、公文書として情報公開の対象。議事録がない、資料は返却した等で公開できる文書がないとするのは、仕事の仕方としてもおかしいし、市民への情報公開のあり方としておかしい。

○樹木剪定は、樹種特有の樹形管理を。

野村;公園、街路樹の樹木、電信柱のように強剪定される樹木を目にする。幹から枝葉を伸ばし、本来の樹形がわからなくなっている樹木も目につく。樹勢が衰え伐採されてしまう場合もある。横浜市では、「生き生き街路樹」事業として、本来の樹形になるよう剪定作業を進めている。樹木が生き生きする管理計画を、と質問。



→*市長;標識が見えない当交通安全の観点、落ち葉等への近隣住民の声があるが、樹形管理等の維持管理計画を検討したい。

野村;落ち葉対策には、近隣を巻き込んだ落ち葉掃き隊などで、対応することを提案。

→*市長;市だけではなく、NPOやボランティアなどと連携・協働して、解決を図っていく。

○自転車駐輪場、統廃合と料金体系見直し?

野村;三鷹駅前、定期利用も一時利用も90%以上の利用率。特に一時利用ができない時間帯があり、困っている市民がいる。今後の整備のあり方は?

→*都市整備部長;一時利用に長時間止めている人がいる。再配置と料金体系の変更を検討する。

 野村;週数回出勤する非正規職員などの市民が不利にならないよう、検討すべき。

○東京外環中央JCT工事現場の現状

*広域まちづくり等担当部長;東京外環道中央JCT工事は、幅(東西)85~150m、延べ550m(南北)、深さ15~30m掘る予定!100万立米掘り出す予定の土砂のうち、40万立米(10tダンプ7万台分)を、横浜、千葉、栃木の工事現場に搬出。すでに1年以上かかっており、今後も同程度の期間がかかる。振動は、重機が動くことによって発生しているので、急発進等しないことなどを事業者に要望していく。

*市長;緊急避難計画は、トンネル施工等検討委員会の「安全・安心確保の考え方」を踏まえ要請継続。

◆閉会期間中の委員会

■総務委員会5/23

市民部報告。固定資産税関係と証明書等発行システムトラブルの2種類のトラブル発生。これに絡んで受託事業者の職員が過労死したとの情報を確認。システム関係で常駐ではないが、いっしょに仕事をしていたスタッフが突然死したのは事実と確認。

受託事業者の過労死に関して、市は、サービス提供型契約であり、労務管理する立場にはない、因果関係は把握していない、報告は求めている、と答弁。再発防止に関しても、直接的な関連性は把握していないと言及を避ける。繁忙期に突発事象で負荷がかかったのは明らか。せめて調査すべきと指摘。システム受託事業者の過労死は、障害発生時の対応そのものを検証すべき。働き方改革で「業務の平準化」をいうなら、下請事業者にも徹底できるような業務委託契約等を検証すべき。障害発生の原因追及と同時に、過労死の再発防止もすべきと指摘した。



■庁舎・議場棟等建替え検討特別委員会5/29

報告イは、6/3開催予定の「市民ワークショップ」。無作為抽出500人中50人の参加表明。専門家ワークショップで修正した配置案を画面で見せ、模型で検討したという。結果は、基本構想に盛り込むとしているが、4月の専門家ワークショップも今回の市民ワークショップも傍聴不可。最初の情報提供の時間だけでもと食い下がったが拒否された。

庁舎に含める機能や全体規模、公会堂の機能と規模等々がきちんと検証がなされないまま、仮置きのまま配置案を検討するには無理がある。

複数の議員の言葉の端々からにじむ懸念。

しかし、市はこのまま基本構想を秋に策定し、基本計画に突っ走る模様。財政計画含め、議員・市民と議論を交わす必要があると指摘するも、耳を貸しそうにもない。

☆憲法を記念する市民のつどい5/12。中学生による憲法前文、三鷹市自治基本条例前文、三鷹子ども憲章朗読の後、木村草太さんによる講演「憲法を暮らしに生かす」。



★総合水防訓練5/13

三鷹市他関係機関が連携し実施する水防訓練を見学。

◆2018年第2回定例会6月議会日程予定

6月8日(金)本会議(野村の一般質問)

11日(月)本会議(一般質問)

12日(火)本会議(議案上程・施政方針)

14日(木)議会運営委員会

15日(金)本会議(議案・請願等審議)

18日(月)総務委員会

19日(火)厚生委員会、まちづくり環境委員会

20日(水)文教委員会

22日(金)外環特別委員会、調布跡地特別委員会

25日(月)駅前特別委員会、庁舎等特別委員会

26日(火)議会運営委員会

29日(金)本会議(委員会報告、議案等審議)



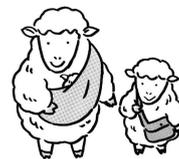
★HPVワクチン薬害訴訟口頭弁論5/30

東京地方裁判所前集会で、一言スピーチさせていただく。「公費助成を求める意見書に賛成した事が申し訳ない。被害者連絡会の発足当初から関わって来た。被害を受けた少女たちの人生が開けるよう支援して行きたい」



★「ソウルの市民民主主義を学び、日本の政治と地域を変える」院内学習会6/6

普遍的な福祉を实践し、社会連帯経済を目指している朴元淳(パク・ウォンソン)ソウル市長。給食無償化、正規職への転換、福祉をすすめ雇用増大。社会的企業や行動組合による地域経済の循環等、様々な施策を展開していることを学んだ。



☆連続市民と議員超党派での安倍退陣、憲法守れのキャンペーン!5/5、5/13(日)@三鷹駅

★「経験から語るトンネル工事の諸問題」5/19。トンネル工事技術者の話

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No.110

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104

Tel&Fax:0422-72-2425

E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net

Url: http://www.nomura-yoko.net

Twitter: @hitujinomura

